

城南町ふれあいの会、立ち上がる

一時休会より、地域社協との合同組織となる

★ 長いこと地道な結束で、活躍されていた城南町楽生クラブが、クラブ会長さんのご逝去で、後を引き継ぐ方もなく自然消滅のような形で一時休会となりました。西町連合では、なんらかの形で復活してほしいと願い、該当地区と話し合いましたが、おかげさまでいい形で復活がなされました。

会長さんは、清水久巳さんで、城南町の地域社協との連合で今後活動を維持していくことになり、地域社協と在来の楽生会は、同じ目的で活動できるとのことで、再出発することとなりました。

★ 会員数は、44名で以前よりもか大分会員が増えました。

規定よると、2年前の消滅時の13名増とのことで、早速規定により、一時休会が立ち上がったということで祝い金1万円・それに会員数が消滅時より13名増加したということで、13人×500円=6500円・計1万6500円を清水さんにさしあげました。

★合同の年間計画は

5月21日	(木)	総代さんのお話	
7月16日	(木)	お楽しみ会	
9月17日	(木)	オカリナ演奏	野笹さん
10月27日	(火)	社協のバスハイク	
11月19日	(木)	会食会	12時より
1月21日	(木)	お正月の遊び	
2月18日	(木)	社協の福祉入浴	
3月17日	(木)	ひな祭り	※ふれあいの時間は午後1時～3時

各月1回の事業計画だそうです。

★ 各地域に昔からの高齢者クラブがあり、ごく最近地域社協が立ち上がって会員の年齢もほぼ同じということでその競合もありましたが、この城南町のように地域社

協の組織と高齢者クラブ・老人クラブとの合体は、目的を同じくする団体であるので、今後高齢者クラブが立ち上がらない未組織の地域はこのような合体も一つの組織として考えてもよいのではないでしょうか。

ご高齢のクラブ会長さんが、行政の窓口へいき提出書類を申請するのも結構ですが、地域社協の会長さんは、地区の行政の一端を掌握しておりますので、前向きに会を掌握できそうに思います。

会員を奪い合いするような組織でなく、地域社会が共存・共栄するような組織であってほしいと思います。

◎長野県下のクラブの実態

平成26年度の県下1550クラブの実態調査結果

◆クラブ会長の年齢

- ・75才～79才までが、全体の42%
- ・ついで80才～84才が27%

◆クラブ加入年齢

- ・60才からが、47%
- ・ついで65才からが、34%

◆クラブの会員数

- ・51人～60人が17%
- ・ついで101人以上が、16%

◆クラブの加入率

- ・21%～30%が13%
- ・ついで11%～20%が7%

◆会員への情報伝達手段

- ・お知らせ・連絡メモが35%
- ・ついで、電話連絡網が26%

◆勧誘方法

- ・個人勧誘が、55%
- ・ついで、チラシ配布・自治会等の案内 20%

第10回市高連ゲート大会は、雨天でも実施

優勝は、御園・2位は御堂垣外・3位は長藤 チームは8チーム出場

★ゲート大会は、平成27年9月7日（月）に高遠町長藤のゲート競技場で行なわれた。

会長挨拶で、「本日はご苦労様。今年も、ゲート協会の柿木茂さんなどのお世話で開催することが出来ました。参加チームを締め切ったら6チームのみで、2チームを誘って8チームで戦うよう配慮。旧伊那地区は御園のみ1チーム・長谷地区出場なし。雨が降ったら延期せず、雨天競技場で行なう。しかも全種目やっても午前中のみ。トロフィーは、御堂垣外が2年連続優勝なので、今年も優勝なら2位チームに授与されたい。予定を一時間早めて実施。来賓各位は、早朝よりご苦労さまです」。

★来賓挨拶で、広瀬福祉課課長さんは、「天候悪かったが、8チームで出来ることはいずれしい。市の100才のお祝い者は20名。100才台は50名いる。その内老人ホーム入居者は、3～4名だ。今日も体を動かし元気でプレーしてほしい。クラブの発展・健康長寿を祈ります」。

社協会長伊藤さんは、「お早ようございます。協会の努力でプレーできることに感謝。日々健康を考えて、体を動かすことは大変良い。協力し助けあって健康寿命を更に進めたい。クラブの益々の発展を祈念します。」

★試合開始はいつもより早い。進行マイクは、室内によく響く。打音も共鳴して腹の底に響く。この屋内競技場は、半円のドーム形になっていて、今日の雨天でも肌寒い天候でもわりと過ごし良い。

本日の日程は、	7:30～	8:00	受付
	8:00～	8:20	開会式
	8:30～	11:00	試合
	11:00～	11:20	閉会式

室内の梁は、県産のカラマツ材の合板を接着してカーブ形に張り合わせた材で、鉄骨同様に丈夫らしい。信州博覧会が松本で行なわれた時、メイン会場が確かこのような木材の合板で、大きく報道されたが、この競技場の建築もその頃建てられたものではないかと思う。

こんな素晴らしい施設が、この高遠町にあるとは驚きだ。

この施設は、ゲートボール場専用でなく、中央の位置にテニスのネットが張られているので、広い層がテニスを楽しむ場でもあるようだ。しかも、2面のコートで練習ができる。

この雨天プレー場の北側には、老人施設の研修場があり、今日も同時刻に陶芸教室が開かれていた。この山村であっても、雨天にかかわらず趣味が活かされることは嬉しいことだ。

★プレーの打音は、終始響いている。特に相手ボールをはじきだす時のコーンという音は、耳をつんざく。今回も女性が半数ほど選手として出場していたが、やはり相手ボールを弾きだす音は、快音だ。プレーの醍醐味の音だ。

★閉会式で、成績発表。

優勝チーム	御園友愛会	2勝0敗	得失点差	+7
	選手：正木稔・白石俊彦・正木計彦・平沢 晨・小池唯江			
準優勝チーム	御堂垣外	2勝0敗	得失点差	+4
	選手：保科彦市・清水千鶴子・藤沢衣子・小林英昭・秋山一			
第3位	長藤チーム	1勝1敗	得失点差	+4
	選手：伊藤茂人・保科敏子・北原米子・高嶋治・北原貞江			
第4位	荒町B	1勝1敗	得失点差	+4
第5位	荒町A	1勝1敗	同	+1
第6位	板山	1勝1敗	同	-0
以下略				
長寿賞	男性	松崎 千秋	(荒町)	
	女性	山本みね子	(水上)	

トロフィー授与 : 御園友愛会チーム

★閉会式：終始朝から雨の中をこの雨天プレー場で試合ができたことを嬉しく思います。

本日は、県南部に大雨注意報が出たが、この素晴らしいコートでつつがなくでき嬉しかったです。もし晴天を待っていたら、今週一週間は雨が続くらしいのでいつ決行になったかわかりません。予定通り終わったので、来年は8チームでなく、往年の20チーム位の出場の大会にしたいものです。ご苦勞様。